

# ぱおぱお ニュース

## < 病気の豆知識 >

### 今月は… 『RSウイルス感染症』

乳幼児に重症な呼吸器感染を起こす感染症です。  
1年を通して発生しますが、冬季に流行がみられます。  
とくに生後数週～数ヶ月の期間にかかると、重症になりやすいと言われています。

#### 感染経路

咳やくしゃみのしぶきが飛んで感染する**飛沫感染**と、よだれや鼻水がついた手指やおもちゃ、ドアノブなどを介して感染する**接触感染**が主な感染経路となります。  
症状が出るまでの潜伏期間は約2～8日です。

#### 症状

発熱・咳・鼻水など風邪の症状で始まりますが、  
しだいに咳がひどくなり、ゼイゼイと苦しそうな呼吸になってきます。



#### 治療

特効薬などはなく、症状を和らげる対症療法となります。  
吸入が必要な場合には吸入器の貸し出しなどもしています。

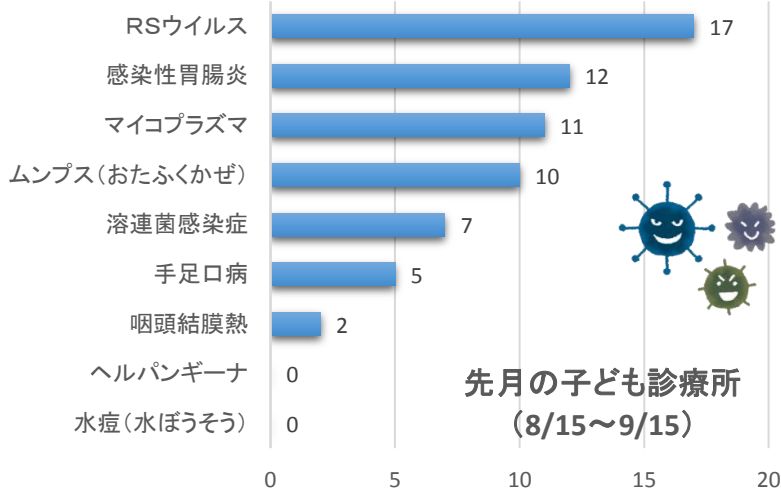


### こんな時にはもう一度受診しましょう



ゼイゼイ・ヒューヒューの音が強く、息苦しう  
胸やお腹をペコペコさせて息をしている  
顔色がよくない  
母乳やミルクの飲みが悪い

## < 感染症情報 >



#### 子ども診療所では…

・RSウイルス感染症と感染性胃腸炎のお子さんが増えました。  
マイコプラズマやおたふくかぜも先月同様が続いています。

#### 病児保育室ぱおぱおでは…

・RSウイルスで高熱と呼吸もゼイゼイしてつらそうなおさんが目立ちました。  
9月に入ると、感染性胃腸炎のおさんが増えています。

## < 目のお話 >

10月10日は『目の愛護デー』です。

10月10日



普段、当たり前に使っている目。疲れてはいませんか？  
この機会に目の健康についても少し考えてみましょう。

### 視力とは… 目で物を識別できる能力

生まれてすぐに見えるわけではなく、毎日ものを正しく見ていることが訓練となり視力が発達します。でも、目のピントが合っていないとうまく発達できないそうです。

視力の発達には生後1ヶ月から始まり、6歳～8歳頃で止まってしまうため、小学校入学時健診などで弱視と分かっていても、その後の治療ではなかなか視力が出ない可能性もあります。早ければ早いほど治る可能性は高くなりますので、早期発見のためにも3歳児眼科検診はととても大切です。めんどくさがらずにきちんと受けましょう。

**乳幼児は見え方に異常があったとしても自分では分かりませんし、  
もちろん“見えない”と訴えることもできません！**

将来後悔されないためにも、視力の発達もしっかり見守ってあげましょう。

普段の生活の中で ・目を細めて見る ・首や頭を傾けて見る  
・目の位置が寄ったり離れたりずれる ・黒目が白っぽく見える など…

何か気になることがあれば、3歳児健診を待たず早めの眼科受診をお勧めします。

<スマイルコーナー> 病児保育室での心温まるエピソードなどをご紹介しますね。

と～っても嬉しいです！ …でも…複雑です… (笑)

ある朝お熱が出てしまった4歳のWちゃん。予約のお電話をいただきましたが、満室で入れませんでした。次の日は入室でき、ニコニコ笑顔で来てくれました。ぱおぱおが大好きで昨日は来られず泣いてしまったとの事。同室の小さい子と遊んでくれたり、制作したり、保育士とおしゃべりもたくさんして元気になって帰りました。

また別の3歳児Yくん。お熱で朝はお母さんと離れたくなくて大泣き。でもお迎え時には「せんせー！楽しかったからまた来るね～♪♪」と言い残して元気に手を振って帰りました。

先生たちもみんなには会いたいけど「またね～」とは言えない病児保育室…(笑)  
やっぱりみんなの元気な笑顔が一番です！陰ながら元気な成長を願っていますね ☆

でも、もしも…の時は、少しでも体と心が“楽”になるよう、色々準備して待っていますね。 (K)



**保育室のご利用には 事前の登録が必要です!**



新規ご登録は随時行っております。まずはお気軽にお電話を♪

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお (月～金 8:30～17:30)

TEL 042-521-2777